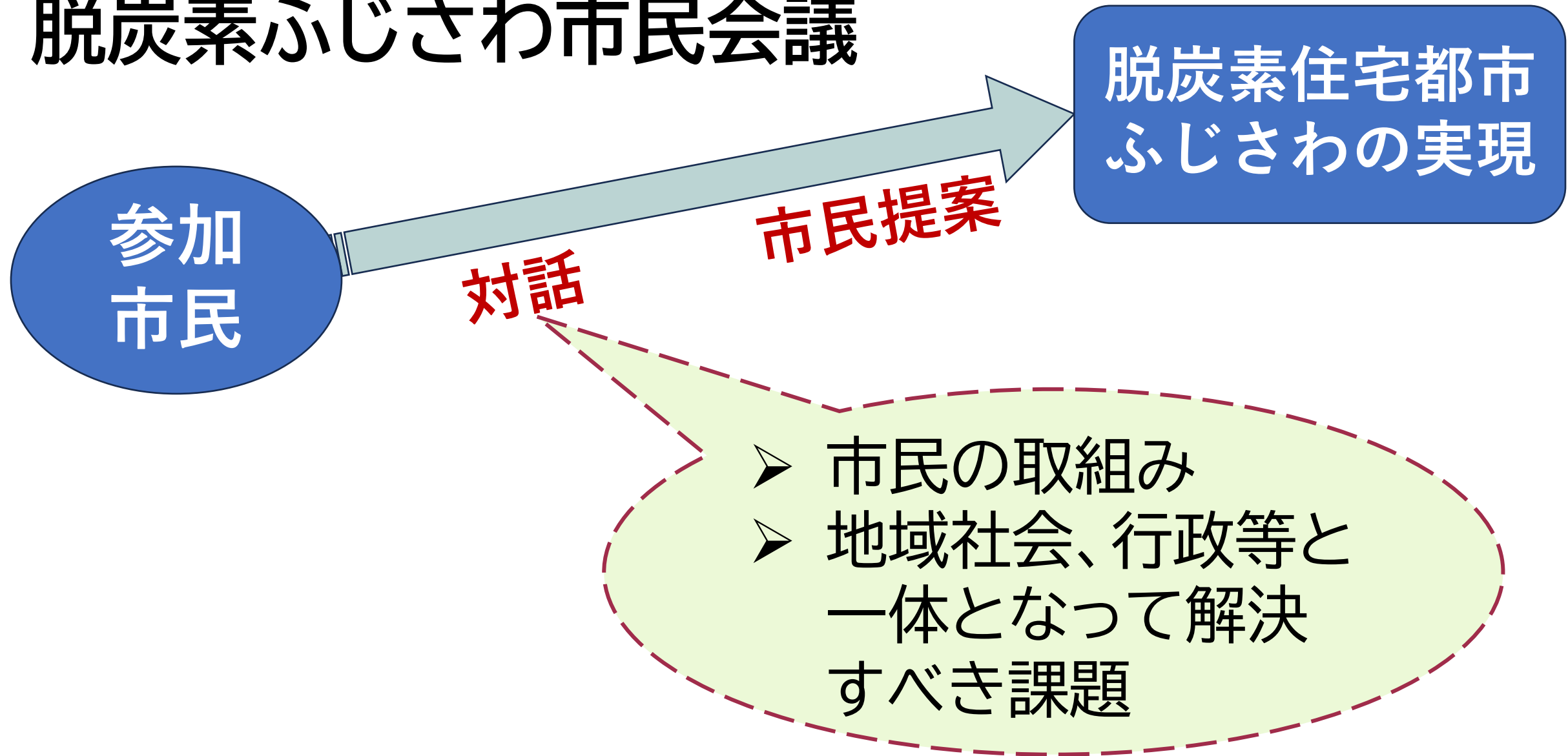


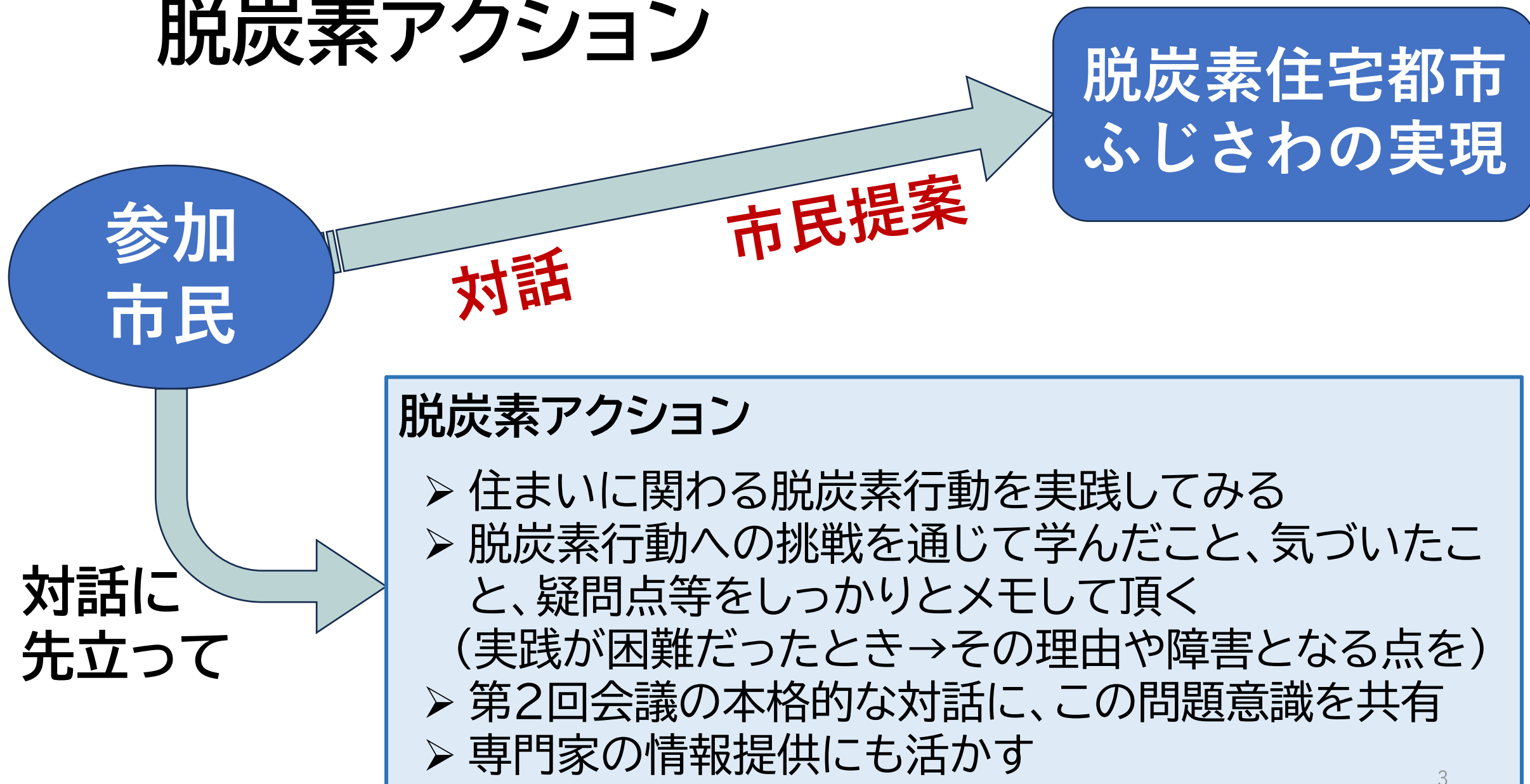
市民自身による脱炭素行動(アクション)

脱炭素ふじさわ市民会議実行委員会
実行委員会事務局:一般社団法人環境政策対話研究所

脱炭素ふじさわ市民会議



脱炭素アクション



脱炭素アクションを市民対話に活かす！

主催者・事務局

既存知見等を基に住まいに関わる脱炭素アクションを用意

第1回市民会議

11/2

参加市民

脱炭素アクションの説明
参加者間で分担・・・1人2項目程度
(ご意向とバランス)

報告

11/17締切

事務局による
整理・分析

脱炭素アクションの実践
(11月上中旬の約10日間)

会議設計に
活かす

専門家

情報提供に結果を
活かす
市民からの疑問に
答える

第2回市民会議

12/20

テーマ討議(分科会)
脱炭素アクション結果・
気づきの等の共有
意見交換
とことん対話を深める

2/7

第3回市民会議

市民提案づくり

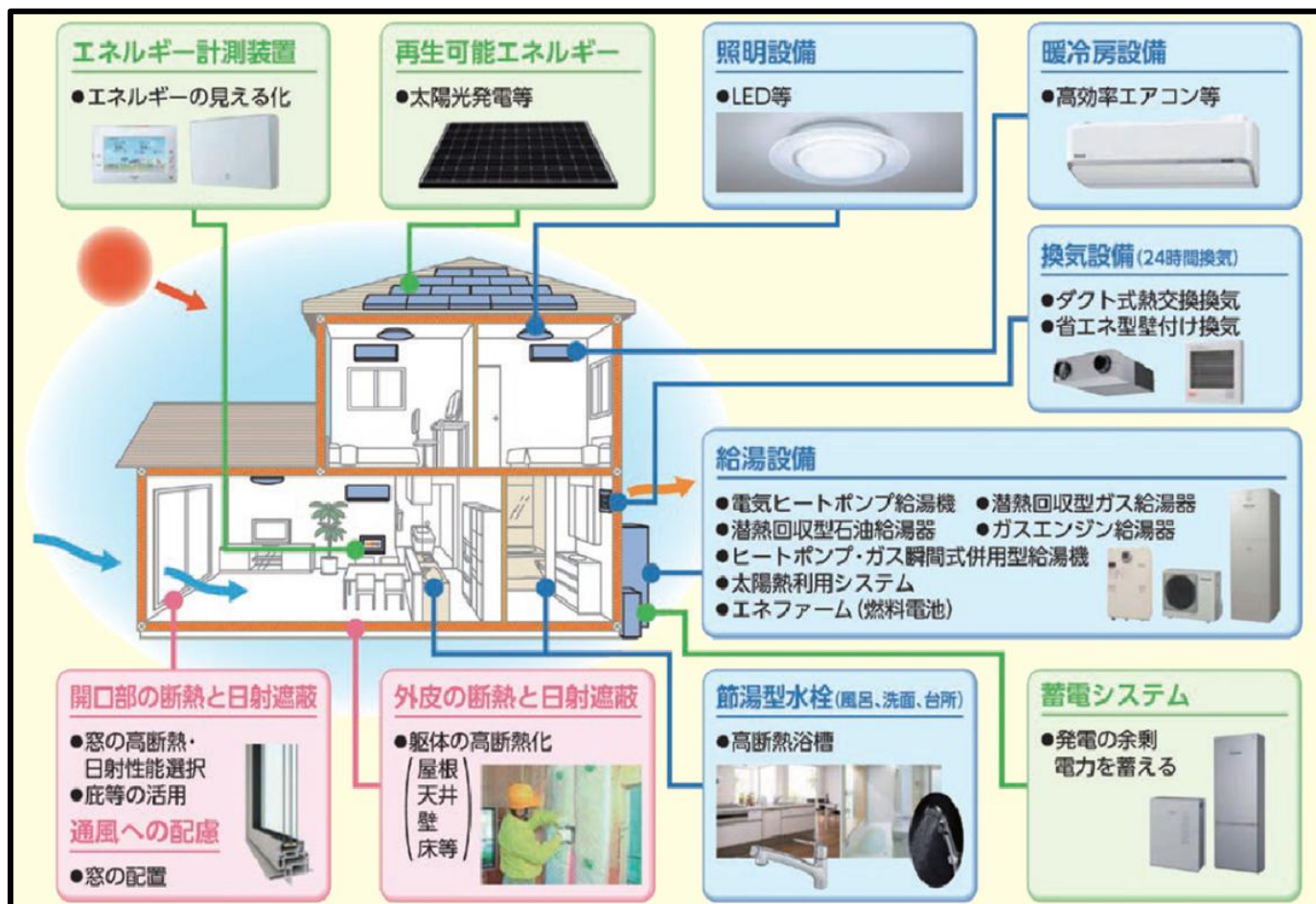
脱炭素アクションについて

- 国立環境研究所と地球環境戦略研究機関は、市民が日常生活等の中でCO₂の排出を削減できる行動は、約60種類に整理することができるとしています。（「1.5℃ライフスタイルプログラム」）
- それらを参考に、市民による住まいに関わる脱炭素行動を6項目に整理し、「脱炭素アクション」を作成しました。

6項目の脱炭素アクション

- 自宅を断熱リフォームする。
- 省エネ型の家電（LED照明など）に切り替える。
- 自宅に太陽光パネルを設置する。
- 自宅の電力を再エネの契約に切り替える。
- エコライフを実践する。
- 高効率給湯器に切り替える。

1. 自宅を断熱リフォームする



提供:神奈川県

- 住宅を断熱化構造にしたり、窓、床、天井、壁等を断熱リフォームすることで、室内外への熱の出入りを抑え、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境となる。これにより、冷暖房の使用量を抑え、CO₂排出量の削減になる。
- 気軽にすぐ始められる断熱DIY
窓に隙間を塞ぐモヘアシールやプラスチックの板を窓に貼れば、低コストで住宅の断熱性能を高めることも可能。
- 既存住宅の断熱リフォームにはかなりの費用を要するが、国、県、藤沢市の助成制度がある。

➤ 藤沢市既存住宅断熱改修補助金
補助対象経費の1/3(上限30万円)

2. 省エネ型の家電(LED照明など)に切り替える

- ・ 省エネ家電: エネルギー効率の高い家電
- ・ 省エネラベル: 電化製品や住宅などの省エネルギー性能をわかりやすく示すための表示制度。消費者が購入時に省エネ性能を比較検討し、環境負荷の少ない製品を選びやすく。

統一省エネラベル



- ・ 九都県市省エネ家電買換キャンペーン (神奈川県も含む)



- ・ エアコン: 最近10年間に省エネ性能が約12%向上
- ・ 冷蔵庫: 10年前に比し、37~43%の省エネ、年間電気代は約4,740~6,090円節約。(401~450L)
- ・ テレビ: 40V型液晶テレビの場合、10年前に比し、42%の省エネ、年間電気代は約1,650円節約。
- ・ 照明器具: 白熱電球→LEDランプで約86%の省エネ。蛍光灯→LEDで約50%の省エネ。

省エネ家電ガイドブック(環境省)より
https://ondankataisaku.env.go.jp/deco-katsu/eco-life/eco-appliances/ouchibook_kaden.pdf

「うちエコ診断」「しんきゅうさん」を使って、目指そう、もっと省エネな暮らし
<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>



3. 自宅に太陽光パネルを設置する

自宅の屋根に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーによる自家発電で自宅の電力をまかなうことで、CO₂の排出量が使用段階ではゼロに。

→ **再エネの地産地消**



環境省資料より

□ **藤沢市** 住宅に太陽光発電システムを設置する方に費用の一部を補助。2025年度は、補助件数は、先着150件で、補助金額は太陽電池の最大出力1kWあたり15,000円（上限50,000円）

□ **神奈川県「0円ソーラー制度」**（概要）

- 事業者が初期費用を負担して、住宅に太陽光発電を設置し、リース料や発電した電力の売電料により、初期費用を回収する方式。
- 住宅所有者は初期費用0円で太陽光発電の設置が可能。
- 設置後、一定期間（約10年間）は、発電された電気のうち使用した分の電気料金の支払いが必要ですが、一定期間経過後は、設備が住宅所有者に無償譲渡される。

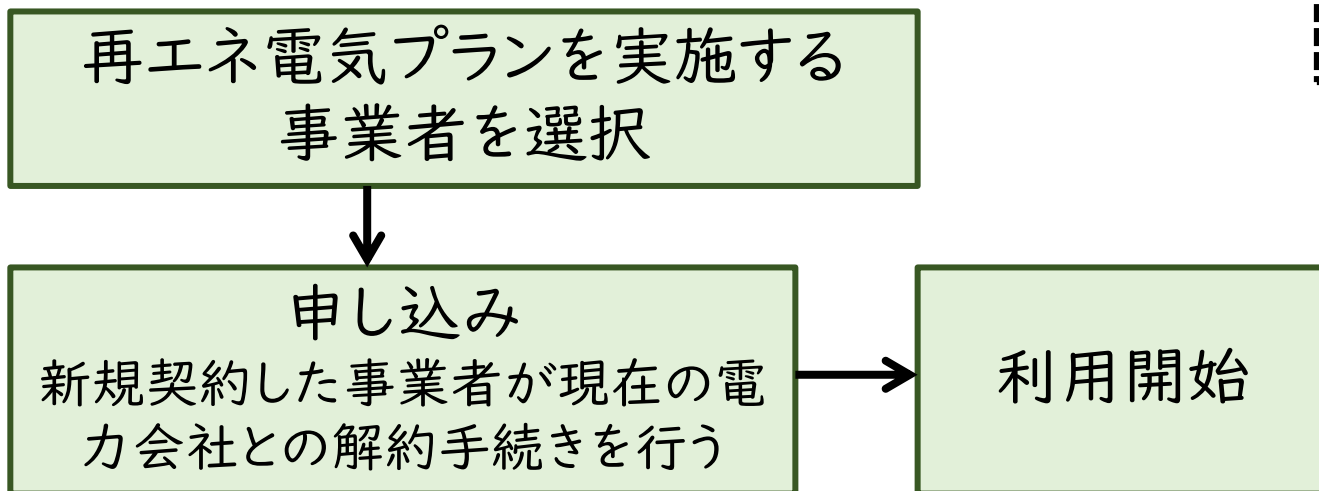
4. 自宅の電力を再エネの契約に切り替える

- 小売電気事業者が提供する「再エネ電気プラン」を選ぶことで、再生可能エネルギー由来の電気（CO₂排出が圧倒的に少ない電気）に切り替えることができます。

環境省の関連情報

<https://ondankataisaku.env.go.jp/re-start/howto/04/>

再エネ電気プランの利用までの流れ



◎パワーシフト・キャンペーン

- 2016年電力自由化から環境NGO・NPO、市民電力団体等が連携し、全国的に展開している「再エネでんき切り替えキャンペーン」
- ウェブサイトを参考にすれば、電気の切り替え可能
<https://power-shift.org/powershift/>
- 地域別に選べる「パワーシフトな電力会社」が紹介されている。

例えば

湘南電力

神奈川県を対象として再エネ電力を供給する事業者として、(株)湘南電力があります。

5. エコライフを実践する

日常生活における省エネの事例は様々考えられますが、藤沢市地球温暖化対策実行計画、1.5℃ライフスタイルプログラム（国立環境研究所・地球環境戦略研究機関）、及び「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）を参考に、以下のとおりにお示します。

- ① 日常生活において、電気・水道・ガス等の使用量の削減に努力
- ② 適切なエアコンの温度設定で省エネでかつ快適な生活を
- ③ 自宅でウォームビズ・、クールビズ等、サステイナブルなファッションに取り組む
- ④ 家庭内でのクールシェア（涼しい場所を皆でシェア）を実践したり、家族が間隔をあけずに入浴するなど、コンパクトな住まい方を工夫する
- ⑤ その他「デコ活」に掲げられている取組みに挑戦する
[デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）](#) | 環境省
- ⑥ 環境に配慮した事項を示したチェックリストを活用し、実践する

6. 高効率給湯器に切り替える

- 高効率給湯器・・・従来の給湯器よりも少ないエネルギーで効率よくお湯を作ることができる給湯器のこと
- 高効率給湯器の助成措置・・・経済産業省による補助：ヒートポンプ給湯器が最大13万円、ハイブリッド給湯器が最大15万円など、自治体独自の助成もあり。
- 課題・・・初期費用がやや高いこと、お湯の使用量が少ない家庭では元を取るのに期間を必要とすること、設置工事を担う人材の問題など

家庭用燃料電池（エネファーム）



出所) アイシン

ハイブリッド給湯機



出所) リンナイ

ヒートポンプ給湯機（エコキュート）



出所) 三菱電機

- エコジョーズ**: ガスを燃焼させた際の排気熱を回収して再利用し、お湯を効率よく沸かす。
- エネファーム**: 都市ガスなどから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させて電気をつくり、その際に発生する熱を給湯に利用する。
- エコキュート**: 大気中の熱を集め、電気と組み合わせでお湯を沸かす。貯湯タンクに貯めたお湯を使い、夜間電力の活用で電気代を節約。
- ハイブリッド給湯器**: エコキュートとエコジョーズの長所を組合せ、高効率でお湯を沸かす。

脱炭素アクションの実践分担に向けて

- 以上ご説明した6項目の「脱炭素アクション」の中から、皆さまには、それぞれ2項目を選んで、実践していただき、後日ご報告をお願いします。
- 6項目の中には、直ちに実践可能なものから、時間をかけて検討すべき項目も含まれています。この後者の項目に対しては、一歩立ち止まって、実践するにはどうしたらよいかなど、ご家族・知人と相談したり調べたりするなど、検討いただきます。
- まず各項目について、自分の現状について点検し、様式にご記入いただきます。
 - A **すでに実施している**
 - B **部分的に実施している、又は機会があれば挑戦してみたい**
 - C **実施していない**
- これ以降は、全体としてバランスよい分担・実践となりますよう、グループごとにファシリテーターの指示に従ってグループワークを進めていただけますか。